

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	英語資格対策 I		（ NKT13F ）
講義名（コード）	英語資格対策 I A		（ NKT13FA ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	仲 恭子	時間数	30
成績評価教員	仲 恭子	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	英検準2級合格を目指す。
全体の内容と概要	英検準2級レベルの単語や表現を学び、合格に必要な英語力を身につける。
授業時間外の学修	復習をしてください。
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	「行き先」「予定」を尋ねる会話を理解し、使うことができる	単語、表現、文法（未来を表す進行形／原型不定詞）を音を中心とした学習をし、英語の語順で英語を処理できるように学ぶ。
2	「この歌に訪ふ」「子供の時の夢」がテーマの会話を理解し、使うことができる	単語、表現、文法（動名詞を目的語にとる動詞／知覚動詞、使役動詞）を音を中心とした学習をし、英語の語順で英語を処理できるように学ぶ。
3	「事故」「依頼」がテーマの会話を理解し、使うことができる	単語、表現、文法（助動詞should）を音を中心とした学習をし、英語の語順で英語を処理できるように学ぶ。
4	「依頼」「終る」時間を尋ねる」がテーマの会話を理解し、使うことができる	単語、表現、文法（句動詞の目的語）を音を中心とした学習をし、英語の語順で英語を処理できるように学ぶ。
5	「提案」「確認」がテーマの会話を理解し、使うことができる	単語、表現、文法（関係疑問文）を音を中心とした学習をし、英語の語順で英語を処理できるように学ぶ。
6	「日程調整」「予定」がテーマの会話を理解し、使うことができる	単語、表現、文法（would like to）を音を中心とした学習をし、英語の語順で英語を処理できるように学ぶ。
7	「遅刻の連絡」「商品の在庫」がテーマの会話を理解し、使うことができる	単語、表現、文法（接続詞のlike）を音を中心とした学習をし、英語の語順で英語を処理できるように学ぶ。
8	「レストラン予約」「書店」がテーマの会話を理解し、使うことができる	単語、表現、文法（助動詞might）を音を中心とした学習をし、英語の語順で英語を処理できるように学ぶ。
9	「水戸黄門の冒険」「嵐の証拠」がテーマの会話を理解し、使うことができる	単語、表現、文法（動詞seem）を音を中心とした学習をし、英語の語順で英語を処理できるように学ぶ。
10	英検準2級の過去問の様式に慣れる	英検の得点分布を解説。実際に問題を過去問を解く。
11	英検準2級過去問の解き方を理解する ①	過去問のフィードバックをする。
12	英検準2級過去問の解き方を理解する ②	過去問のフィードバックをする。
13	総復習	間違えやすい項目を、定着していない項目を中心に復習をする。
14	テスト	テスト
15	まとめと解説	テストFB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	つきっきり英検準2級 （旺文社）
参考文献・資料等	英検過去問（英検公式ホームページ）・英検準2級総合対策教本 （旺文社）
備考	